



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル  
コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 COO

(氏名) 城川 雅行

問合せ先責任者 (役職名) IR担当マネージャー

(氏名) 植田 将二郎

TEL 06-6350-1080

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	43,688	2.7	4,486	28.0	4,529	66.3	2,769	63.7
2021年3月期第1四半期	42,527	0.8	3,504	△16.8	2,723	△36.2	1,691	△43.9

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 4,665百万円 (245.2%) 2021年3月期第1四半期 1,351百万円 (△44.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	50.53	—
2021年3月期第1四半期	30.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	166,097	105,843	63.7	1,934.16
2021年3月期	159,367	103,080	64.7	1,869.58

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 105,843百万円 2021年3月期 103,080百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	3.9	13,600	9.4	13,600	12.4	8,900	6.3	161.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	60,161,956株	2021年3月期	60,161,956株
2022年3月期1Q	5,438,520株	2021年3月期	5,026,153株
2022年3月期1Q	54,807,727株	2021年3月期1Q	55,564,787株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位で記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高436億88百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益44億86百万円(前年同期比28.0%増)、経常利益45億29百万円(前年同期比66.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億69百万円(前年同期比63.7%増)となりました。

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率
売上高	42,527	43,688	2.7%
営業利益	3,504	4,486	28.0%
経常利益	2,723	4,529	66.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,691	2,769	63.7%
米ドル平均為替レート(円)	108.86	106.09	△2.5%
ユーロ平均為替レート(円)	120.08	127.81	6.4%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画の実行に向け、欧州におけるマネジメント体制を変更し、従来報告セグメントとして開示しておりました「PAGO」を「欧州」に統合しております。

また、品目別区分について、日本セグメントの「医薬等受託包装」を「その他」へ、米州セグメントの「その他ラベル」を「その他」へ、それぞれ従来の区分から変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分及び品目別区分に組替えた数値で比較分析しております。

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	12,079	12,777	5.8%	—
タックラベル	2,828	2,699	△4.6%	—
ソフトパウチ	4,244	4,690	10.5%	—
機械	1,966	961	△51.1%	—
その他	3,569	3,652	2.3%	—
売上高合計	24,688	24,780	0.4%	—
営業利益	2,480	3,298	33.0%	—
米州				
シュリンクラベル	7,223	7,895	9.3%	12.2%
タックラベル	237	322	35.7%	39.3%
ソフトパウチ	276	99	△64.0%	△63.1%
機械	704	1,045	48.5%	52.3%
その他	308	355	15.3%	18.3%
売上高合計	8,750	9,718	11.1%	14.0%
営業利益	881	1,030	17.0%	20.0%
欧州				
シュリンクラベル	3,079	3,304	7.3%	0.8%
タックラベル	1,977	2,018	2.1%	△4.1%
ソフトパウチ	77	45	△41.5%	△45.0%
機械	1,586	1,762	11.1%	4.4%
売上高合計	6,720	7,130	6.1%	△0.3%
営業利益	△3	250	—	—

	2021年3月期 第1四半期連結累計期間	2022年3月期 第1四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
アセアン				
シュリンクラベル	1,976	1,803	△8.7%	△6.4%
タックラベル	40	45	13.5%	16.4%
ソフトパウチ	2,123	2,049	△3.5%	△1.0%
機械	186	44	△76.3%	△75.6%
その他	7	59	719.8%	741.2%
売上高合計	4,333	4,002	△7.6%	△5.2%
営業利益	329	147	△55.3%	△54.1%

(日本)

シュリンクラベルは売上高127億77百万円(前年同期比5.8%増)、タックラベルは売上高26億99百万円(前年同期比4.6%減)、ソフトパウチは売上高46億90百万円(前年同期比10.5%増)、機械は売上高9億61百万円(前年同期比51.1%減)、その他は売上高36億52百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

その結果、日本全体の売上高は247億80百万円(前年同期比0.4%増)、損益面は営業利益32億98百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

(米州)

シュリンクラベルは売上高78億95百万円(前年同期比9.3%増、現地通貨ベース12.2%増)、タックラベルは売上高3億22百万円(前年同期比35.7%増、現地通貨ベース39.3%増)、ソフトパウチは売上高99百万円(前年同期比64.0%減、現地通貨ベース63.1%減)、機械は売上高10億45百万円(前年同期比48.5%増、現地通貨ベース52.3%増)、その他は売上高3億55百万円(前年同期比15.3%増、現地通貨ベース18.3%増)となりました。

その結果、米州全体の売上高は97億18百万円(前年同期比11.1%増、現地通貨ベース14.0%増)、損益面は営業利益10億30百万円(前年同期比17.0%増、現地通貨ベース20.0%増)となりました。

(欧州)

シュリンクラベルは売上高33億4百万円(前年同期比7.3%増、現地通貨ベース0.8%増)、タックラベルは売上高20億18百万円(前年同期比2.1%増、現地通貨ベース4.1%減)、ソフトパウチは売上高45百万円(前年同期比41.5%減、現地通貨ベース45.0%減)、機械は売上高17億62百万円(前年同期比11.1%増、現地通貨ベース4.4%増)となりました。

その結果、欧州全体の売上高は71億30百万円(前年同期比6.1%増、現地通貨ベース0.3%減)、損益面は営業利益2億50百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

(アセアン)

シュリンクラベルは売上高18億3百万円(前年同期比8.7%減、現地通貨ベース6.4%減)、タックラベルは売上高45百万円(前年同期比13.5%増、現地通貨ベース16.4%増)、ソフトパウチは売上高20億49百万円(前年同期比3.5%減、現地通貨ベース1.0%減)、機械は売上高44百万円(前年同期比76.3%減、現地通貨ベース75.6%減)、その他は売上高59百万円(前年同期比719.8%増、現地通貨ベース741.2%増)となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は40億2百万円(前年同期比7.6%減、現地通貨ベース5.2%減)、損益面は営業利益1億47百万円(前年同期比55.3%減、現地通貨ベース54.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,660億97百万円となり、前連結会計年度末と比較し67億30百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金が16億2百万円増加したこと、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が47億41百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は602億53百万円で、前連結会計年度末と比べ39億66百万円の増加となりました。これは支払手形及び買掛金(電子記録債務を含む)が24億34百万円増加したこと、前受金や預り金の増加によりその他流動負債が24億52百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は1,058億43百万円で、前連結会計年度末と比べ27億63百万円の増加となりました。これは利益剰余金が18億87百万円増加したこと、為替換算調整勘定が19億25百万円増加したこと、自己株式取得により10億20百万円減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、61億63百万円の収入(前年同期は27億2百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益47億8百万円、減価償却費19億50百万円などの計上、仕入債務の増加額22億86百万円、その他流動負債の増加などによるその他の増加額25億86百万円などによる収入、売上債権の増加額40億49百万円、法人税等の支払額17億58百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、23億27百万円の支出(前年同期は12億40百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出22億64百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億22百万円の支出(前年同期は14億17百万円の収入)となりました。これは、借入金の返済11億33百万円、自己株式の取得10億20百万円、配当金の支払額8億82百万円などによるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億50百万円増加の226億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,688	23,291
受取手形及び売掛金	40,973	43,457
電子記録債権	8,686	10,945
商品及び製品	8,537	8,261
仕掛品	3,458	4,839
原材料及び貯蔵品	6,762	6,170
その他	3,837	3,371
貸倒引当金	△210	△194
流動資産合計	93,734	100,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,714	22,787
機械装置及び運搬具(純額)	20,044	19,342
工具器具備品(純額)	1,509	1,594
土地	6,257	6,276
リース資産(純額)	277	262
建設仮勘定	3,113	4,200
その他(純額)	965	928
有形固定資産合計	54,881	55,392
無形固定資産		
のれん	159	147
その他	1,342	1,343
無形固定資産合計	1,501	1,490
投資その他の資産		
投資有価証券	3,829	3,871
退職給付に係る資産	2,811	2,809
繰延税金資産	2,109	1,887
その他	556	561
貸倒引当金	△57	△58
投資その他の資産合計	9,249	9,071
固定資産合計	65,632	65,954
資産合計	159,367	166,097

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,104	13,443
電子記録債務	11,655	13,750
短期借入金	5,416	4,975
1年内返済予定の長期借入金	1,085	5,953
リース債務	78	79
未払金	4,685	4,008
未払法人税等	991	722
賞与引当金	1,713	2,208
その他	7,744	10,196
流動負債合計	46,474	55,338
固定負債		
長期借入金	5,115	122
リース債務	134	116
繰延税金負債	1,153	1,245
退職給付に係る負債	2,594	2,622
その他	814	806
固定負債合計	9,811	4,914
負債合計	56,286	60,253
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,584	6,584
利益剰余金	93,372	95,260
自己株式	△7,537	△8,557
株主資本合計	98,410	99,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,340
為替換算調整勘定	1,815	3,741
退職給付に係る調整累計額	1,535	1,484
その他の包括利益累計額合計	4,670	6,566
純資産合計	103,080	105,843
負債純資産合計	159,367	166,097



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	42,527	43,688
売上原価	34,310	34,355
売上総利益	8,217	9,332
販売費及び一般管理費	4,713	4,845
営業利益	3,504	4,486
営業外収益		
受取利息	3	9
受取配当金	36	44
還付加算金	—	16
その他	19	27
営業外収益合計	59	97
営業外費用		
支払利息	14	24
為替差損	820	12
その他	4	17
営業外費用合計	840	54
経常利益	2,723	4,529
特別利益		
固定資産売却益	2	11
受取保険金	—	※1 242
特別利益合計	2	253
特別損失		
固定資産除売却損	19	75
特別損失合計	19	75
税金等調整前四半期純利益	2,706	4,708
法人税、住民税及び事業税	1,175	1,655
法人税等調整額	△160	283
法人税等合計	1,014	1,939
四半期純利益	1,691	2,769
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,691	2,769

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,691	2,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	21
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△388	1,925
退職給付に係る調整額	△24	△51
その他の包括利益合計	△340	1,896
四半期包括利益	1,351	4,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,351	4,665
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,706	4,708
減価償却費	1,823	1,950
のれん償却額	10	11
受取保険金	—	△242
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△21
賞与引当金の増減額(△は減少)	420	486
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	△11
固定資産除売却損益(△は益)	16	63
受取利息及び受取配当金	△39	△54
支払利息	14	24
為替差損益(△は益)	236	67
売上債権の増減額(△は増加)	△3,441	△4,049
棚卸資産の増減額(△は増加)	755	△66
仕入債務の増減額(△は減少)	893	2,286
未払金の増減額(△は減少)	△397	△95
その他	1,366	2,586
小計	4,379	7,643
利息及び配当金の受取額	38	55
利息の支払額	△12	△19
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,703	△1,758
保険金の受取額	—	242
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,702	6,163
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,342	△2,264
有形固定資産の売却による収入	2	17
無形固定資産の取得による支出	△38	△104
投資有価証券の取得による支出	△56	△9
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	0	2
補助金の受取額	200	42
その他	△6	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,240	△2,327
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,500	△1,000
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△125	△133
自己株式の取得による支出	—	△1,020
配当金の支払額	△889	△882
その他	△68	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,417	△3,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,962	1,150
現金及び現金同等物の期首残高	11,342	21,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,304	22,699

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は1,020百万円(412,200株)増加いたしました。当該自己株式の取得等により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式は8,557百万円(5,438,520株)となりました。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる、従来収益認識方法からの重要な変更はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準の適用による、当第1四半期連結累計期間の期首利益剰余金に与える影響はなく、損益に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

2019年11月に発生した当社の連結子会社株式会社フジシール(筑波工場)の火災事故に伴う利益補填に係る保険金であります。

(セグメント情報)

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

当第1四半期連結会計期間より、欧州におけるマネジメント体制を変更し、従来報告セグメントとして開示しておりました「PAGO」を「欧州」に統合しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,341	8,750	5,844	3,591	42,527	—	42,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	346	0	876	741	1,965	△1,965	—
計	24,688	8,750	6,720	4,333	44,492	△1,965	42,527
セグメント利益又は 損失(△)	2,480	881	△3	329	3,687	△183	3,504

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△183百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,315	9,717	6,142	3,512	43,688	—	43,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	1	988	490	1,944	△1,944	—
計	24,780	9,718	7,130	4,002	45,632	△1,944	43,688
セグメント利益	3,298	1,030	250	147	4,727	△240	4,486

(注) 1. セグメント利益の調整額△240百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。